

茗溪社会教育研究

第9号

〈巻頭言〉		
上田 孝典	1
〈研究論文〉		
土井 進	博物館の実物資料のもつ教育効果	2
	—「生涯学習概論」における唐澤博物館との連携—	
〈研究ノート〉		
屈 璐	地域と学校の連携から日本における地域の教育力の向上を読み解く	15
	—牛久市放課後対策事業の運営モデルに着目して—	
〈実践報告〉		
小林 賢司	和歌山県北山村の教育関係事業について	27
〈研究室活動報告〉		
	大子町における活動報告	31
	茨城保養の会との連携および活動報告	42
〈茗溪社会教育研究会〉		
生島 美和	棚橋源太郎の博物館構想と青森の地域課題に向き合って	46
〈卒業論文概要〉		
柏崎 賢吾	文化遺産を活用した地域における教育実践に関する研究	58
	—地域資源としての文化財に着目して—	
〈修士論文概要〉		
甄 柳	中国における「留守児童」対策に関する実証的研究	60
	—「留守児童の家」事業を事例として—	
近藤 恵子	中学校美術科における教育的意義と教員の役割	65
	—学校と美術館の連携に着目して—	
藤田 悠佑	学校における「地域学」の現状と課題	71
	—市町村教育委員会の取り組みに着目して—	
〈彙 報〉	76
〈『茗溪社会教育研究』投稿規程〉	78
〈編集後記〉	79

平成30年6月

筑波大学 生涯学習・社会教育学研究室

編集後記

本年度も、例年通り、『茗溪社会教育研究』第9号をお届けすることができました。本号では、東京教育大学の卒業生でいらっしゃる、淑徳大学教授の土井進先生より、論文をご寄稿いただきました。誠にありがとうございました。また、華東師範大学からいらしゃった屈璐さんから研究ノートを、研究室の卒業生である小林賢司さんから北山村の実践報告をご寄稿いただきました。

活動報告としては、茗溪社会教育研究会 新春の集いにおける生島美和先生のご講演録をはじめ、大子町での活動や茨城保養の会の活動などを掲載することができました。皆様のご協力により、非常に充実した内容になっております。ご協力をくださり、ありがとうございました。

多くの皆様に感謝の気持ちを表し、ここに編集後記といたします。今年度も充実した研究室活動に取り組んでまいりたいと考えております。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(文責 橋田慈子)

編集委員

上田 孝典 (筑波大学)
橋田 慈子 (筑波大学大学院)
楊 格 (筑波大学大学院)

茗溪社会教育研究 第9号

2018年6月1日 発行

発行者 筑波大学 生涯学習・社会教育学研究室
〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学人間系学系棟
